



施設利用者らで風船卓球大会

利用者・家族・職員が触れ合う

4月8日、長島町多目的ホールで、NPO法人ふうしゃとデイサービスセンターすいせんの利用者や職員、家族らが一同に集まって、風船卓球大会が行われました。

利用者らが日頃のレクリエーションで行っている風船卓球を通じて、家族や職員らと触れ合うために同事業所で初めて開催されたこの大会。参加した人たちは、風船を落とすまいと大きな声を掛けあいながら楽しんでいました。

大会に参加した安行鈴子さん（山門野上）は「友達とカバーし合ったり、アウトを取ってみたいりとても楽しかった」と笑顔で話していました。



↑声を掛けあいながら楽しむ参加者ら

転入学校職員宣誓式

学びの場での活躍に期待

4月7日、平成29年度転入学校職員宣誓式が役場指江庁舎でありました。

式には、4月の異動で新たに本町の小中学校へ転入してきた職員40人のほか教育関係者らが参加。村田研史教育長が本町の教育環境や概要などを紹介したあと、転入者を代表し田中サミュエル教諭（鷹巣中学校）が「教育公務員の職務とその責任の特殊性を深く自覚し、誠実かつ公正に職務を執行します」と力強く宣誓書を読み上げました。

式の最後には今後の教育現場での活躍に期待を込めて、職員全員にアオサやジャガイモなど本町の特産品が配られました。



↑宣誓書を読み上げる田中教諭

第10回関西ながしま交流会

ふるさとに思いをさせて

3月19日、関西ながしま交流会が大阪太閤園で開催されました。

今回は、合併後10回目となる記念交流会として、城川内郷土芸能保存会24人も参加しました。総会では、オープニングセレモニーとして保存会のメンバーが「城川内鉦踊り」を勇壮かつ力強く披露。ふるさと長島に思いを馳せ、感動し涙ぐんで観賞する会員の姿も見られました。

懇親会では、長島弁が飛び交い、また思わぬ出会いに感動しながら、ふるさとの思い出話に花を咲かせていました。



↑交流会前に京橋駅前の広場で踊る城川内郷土芸能保存会